

ヒ素汚染飲用水が中国人 2000 万人の健康に影響—中国メディア

2013 年 08 月 25 日



スイスと中国研究員周四氏が公表した研究結果によると、ヒ素に汚染された飲用水によって、中国人 2000 万人の健康が損なわれているという。8 月 24 日、環球時報が伝えた。

研究では、中国では新疆のタリム盆地や内モンゴルのエジナなど 2000 万人の生活区域がヒ素汚染の高リスクにさらされていることが明らかになった。ヒ素濃度が 1 リットルあたり 10 マイクログラムを超えている地域の面積は 58 万平方キロに及ぶという。

中国人 1500 万人の飲用水にリットルあたり 10 マイクログラムのヒ素が含まれており、50 マイクログラムを超過している飲用水を飲んでいる人も 600 万人いる。内モンゴルでは多くの地区でヒ素濃度が 100 マイクログラム

を超えており、最高では1500マイクログラムに達した。

ヒ素の混入された飲用水を長時間摂取した場合、その濃度が低くても色素沈着、肝臓病、腎臓機能の低下などの悪影響が起こりうる。

(編集翻訳 浦上早苗)

<http://www.xinhua.jp/socioeconomy/photonews/357712/>